

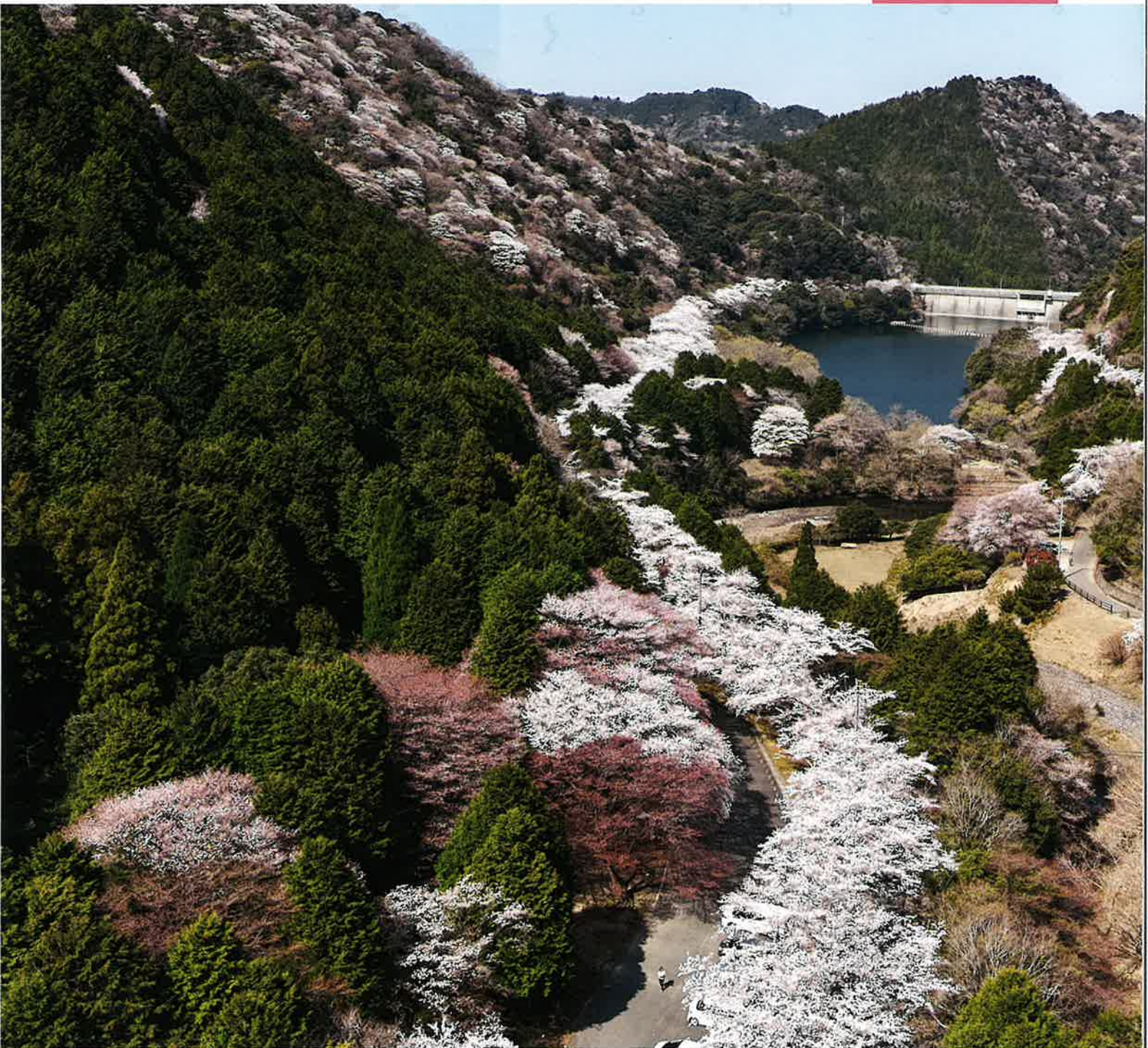
ふれあい

公益財団法人 犯罪被害救援基金

No.174

春季号

令和8年4月



本誌は、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



ぜんりよく

- 全力で遊ぶ
- 全力で楽しむ
- 全力で笑う
- 全力で喜ぶ
- 全力で怒る
- 全力で悲しむ
- 全力で学ぶ
- 全力で働く
- 全力で進む
- 全力で食べる
- 全力で休む
- 全力で寝る
- 全力で生きる

桜庭 巧 1978年生 柏市在住

2005年の冬、スキーの事故で右足大腿を骨折し、動脈を切断する怪我を負いました。9時間の血管をつなぐ手術の後に右足が壊死し激しい痛みにおそわれ、その痛みを紛らわすために、色えんぴつと筆ペンで絵を描き始めました。1年8ヶ月入院しましたが右足に重い障害が残りました。入院中に色えんぴつとふでペンで書いた絵手紙を「素人絵ですが少しでも見てくれた人の力になったり、心の癒しになれば」とHPに公開しています。

ふれあい No.174

表紙：桜満開の諭鶴羽ダム

目次

03 巻頭のことば

「すべての犯罪被害者法制の背後に被害者の尽力がある」
埼玉県立大学准教授
公益財団法人犯罪被害救援基金理事 白岩 祐子

04 インタビュー ひと・人・ひと

復帰は無理という言葉を打ち破り、事故から完全復活「誰かの役に立ちたい」という思考と感謝という価値観の転換がもたらしたものの。
パラリンピック金メダリスト／自転車競技選手 杉浦 佳子

06 読者の広場

奨学生便り 他

07 ふれあいの広場

『令和八年度事業計画・収支予算』等の決定 他

10 ふれあいアンケート

『親代わりの祖父母』

12 「大切な命を守る」

全国中学・高校生作文コンクールより

『事実の裏のかけがえない真実』 矢嶋 由乃

13 もしもー！に役立つ！防災情報

14 北から南から 兵庫県

春の淡路島の楽しみ方

すべての犯罪被害者法制的背後に被害者の尽力がある

埼玉県立大学准教授
公益財団法人犯罪被害者支援基金理事

白岩 祐子



——人間の為すあらゆることは、はじめから完全無欠ということ
はありえない。それゆえ、法律であれ制度であれ、現状に合うよう
な手直しが、常に必要になってくる（塩野七生『マキャヴェツリ語
録』新潮社）——

本邦の司法制度や法律では、被疑者・被告人を国家権力から守る
ことに主眼が置かれ、犯罪被害者（ここでは本人、家族、遺族をさ
す）への視点がすつぽりと抜け落ちたまま、長い歳月が経過してき
た。一例を挙げるならば、被疑者が起訴されるのか、裁判はいつど
こで行われるのか、そうした基本的な事柄すら、多くの被害者は知
らされずにきたのである。事件による衝撃の中で自分を奮い立たせ
ながら捜査に協力し、当事者として事件の真相や詳細を知るべく裁
判をまちわびる被害者。その被害者が知らないうちに不起訴処分が
決まっていた、いつのまにか裁判が始まり、そして終わっていたこ
とを短い新聞記事で知る。そのようなことが、1999年に被害者
等通知制度が始まるまで続いていた。

「被害者を守るものが何もない」というこうした状況から、多少
なりとも被害者の権利が確立しつつある現在に至るまでには、「手

直し」という言葉では生ぬるい被害者の尽力、苦闘があつた。事情
を知らない世間一般の人からみれば、被害者や支援者が口にしてき
た「せめて加害者なみの権利や支援を被害者にも」という要望は、
まるで冗談のように映るかもしれない。しかし、これが偽らざる実
感であつたし、今もそれは変わらない。

現在の法律や制度も、被害者にとってなお十分な水準にあるとは
言いがたい。今後も「手直し」のための苦闘は続くだろう。その過
程で忘れてはならないのが、前掲した先人たちの献身である。法律
は、新しく制定されても過去にさかのぼって適用されない。被害者
法制的策定に尽力してきた被害者の多くは裁判がすでに終わってお
り、新法が自分たちの事件には遡及されないことを知りながら、亡
くなった被害者のため、他の被害者のため、そして将来の被害者の
ためにと、力を尽くしてきた。その見えざる無私な貢献を、可視化
し、定量的に示すために私は研究者となり、被害者法制的効果検証
を専門のひとつとしてきた。マイナーな学際領域であり、「人権派」
が多いアカデミズムでの苦労もあるが、先人が道を切り開いてきた
ように、私も力を尽くしていくつもりである。

復帰は無理という言葉を打ち破り、事故から完全復活「誰かの役に立ちたい」という思考と感謝という価値観の転換がもたらしたもの。

東京二〇二〇パラリンピック競技大会。五〇歳で二種目の金メダルを獲得！「日本人選手過去最高齢」の金メダルであり、「日本自転車史上初の同一大会二冠」を成し遂げた杉浦佳子さん。

さらに、自身の最高齢記録を二〇二四パリパラリンピックで見事更新。二連覇の金メダルを獲得しました。大事故を乗り越え、自転車競技に挑み続ける杉浦さん。薬剤師として人を支え、アスリートとして自らの限界を更新し続ける原動力は、どこから生まれるのでしょうか？ 幼少期からのお話をお聞きしました。



パラリンピック金メダリスト／自転車競技選手
杉浦 佳子さん

「体育が2だった」少女時代

——どんなお子さんだったのですか？

どちらかというと不器用で、内向的だったと思います。小学校低学年のころ、体育の成績が「2」だったことを、大人になって通信簿を見返して初めて知りました。自分ではあまり記憶がないのですが、「あ、私って運動が苦手だったんだ」と。

活発でもなく、鈍いなどは感じていました。ただ、その記憶が強烈に残っているわけでもなくて、だからこその後から振り返って気付くという感じでしたね。

目標設定が変わった「走る楽しさ」

——スポーツに興味をもつきっかけは？

小学校三年生の担任の先生の存在が大きかったです。毎朝、授業前に一〇分間グラウンドを走るという取り組みがあり、ただ走るだけでなく、記録を付けるんです。

私の地元は静岡で、「今日は静岡駅に着いた」「神奈川県に入った」みたいに、走った距離を東京までの道のりに見立てる目標がありました。それが本当に楽しくて。速さは関係ない、自分のペースでいい。毎日続けると、少しずつ前に進んでいるのが見える。それで走ることが大好きになりました。

——競争ではなかったのですね。

全然違います。早い子は早い。でも私は私。いつか東京駅に着けたらいいな、って。それがワクワクしました。

下手だったからこそ楽しかった

——他のスポーツはどうでしたか？

父が「何かスポーツを」と考えて、最初はヨットを勧められたのですが、海が怖くて断念（笑）。次にソフトボールクラブに入って、友達と一緒にだったので続けられました。

正直、上手ではなかった。むしろ誰よりも下手（笑）だったかも。でも、だからこそ伸び代が大きいのです。走るのも投げるのも、練習すればするほどできるようになるでしょう。その変化が楽しかったですね。

六年生のときには、クラスの女子が一番遠くまでボールを投げられるようになったんですよ。最初がダメだったからこそ、成長が実感できた。今思うと、鈍くて良かったなと思います。

自転車は「生活の足」から「土台」へ

——自転車はこの頃からですか？

競技としては全然違います。子どものころは、田舎なので移動手段が自転車しかなくて。雨の日もカッパを着て自転車でした。

一番乗り込んだのは高校時代です。家から学校まで一五キロほどあり、最初はバス通学だったのですが、あるきっかけで自転車通学に変えたのです。ママチャリで変速もなし。坂道も多くて、今思えばすごい脚力があったと思います。当時は意識していませんでしたが、あの経験が今の基礎体力になっていると思います。

挫折から見つけた天職、 薬剤師への道。

——薬剤師を目指したのは？

薬剤師という職業も、最初から強い志があったわけではないのです。実家が昔ながらの薬屋で、近所の人から「将来は薬剤師になるんでしょ」と言われて育ちました。自然と「薬学部に行くのだろうな」と思っていた感じで薬学部へ進学。しかし、在学中の予期せぬ妊娠により、一年で大学を退学することになってしまいました。

でも、「母」になったことが大きな転機になりました。地域のために働いていた母や祖母の姿を思い、「今度こそ自分の意志で、地域の役に立つ薬剤師になりたい」と決意。十九歳で出産。育児をしながらの猛勉強の末、二〇歳で難関の北里大学薬学部に合格。支えてくれた家族や周囲の方のためにも、一発で合格したい。その気持ちで原動力でした。子育てと学業の両立は大変でしたが、だからこそ時間の使い方が上手くなりました。周囲に支えられて掴んだ資格だから、仕事に対する責任感は一層強いですね。

ダイエットから始まった アスリートへの挑戦

——自転車競技を始めたのは？



works 328

最初はダイエット目的(笑)。自分の年齢ごとに目標を設定したくて。走るのが好きなので二十代はフルマラソン。三〇歳直前に完走できました。三〇代ではトライアスロンを始めました。そのために自転車を買ったのです。マラソン完走で自信がついていて、三〇代の集大成としてのトライアスロン挑戦でした。三八歳で過酷な宮古島大会を完走するまでになりました。

——かなり激しい目標ですね。

でも、頑張りすぎないようにしています。わりと数値的にコントロールしているのです。毎日どれくらい疲労しているかも数値で見えています。疲労や睡眠、練習量を数値で管理して、休む日もちゃんと作る。頑張れないという人は根性がないのではなく、頑張りすぎていることが多いのでは？ 今日でも精一杯頑張ったみたいない感じで、ずっと頑張っていると体がついていなくなるので、ここで休みを入れるというのもデータ管理しています。

トレーニングの基本は「徹底したデータ管理」にあります。「根性がないから続かないのではない。コントロールができていないだけ」と思います。疲労度を数値化し、休養を戦略的に取り入れることで、年齢の壁を超えて成長し続けていけるのです。自分がどれくらい頑張り続けられるかを知って、ほんの少しずつ積み上げていく。それが長く続ける秘訣ですね。

絶望の淵で気付いた 「ありがとう」の魔法

——レース中、大きな事故にあわれたのですよね？

それがもう一つの転機ですね。右半身の麻痺や高次脳機能障害を負い、医師からは

「薬剤師に戻るのも自転車レースも無理」と宣告されました。人の役に立ちたいと願っていた自分が、人の助けなしには生きられなくなった現実。当初は「すみません」と謝ってばかりの毎日でした。事故時の記憶はほとんどないのですが、人の手を借りないと生きられない時期もありました。

そのとき、マネージャーに言われたのです。「迷惑はかけてもいい。でも、すみませんではなく、ありがとうと言ってほしいな」と。その言葉で、心の持ちようが劇的に変わりました。復帰できた東京パラリンピック後は、多くの方から「感動をありがとう」と言われ、確信しました。

自分は「ありがとう」を言う側の人間だと思っていたけれど、言ってもらえる側に来られた。それが第二の人生の始まりでした。

高次脳機能障害という診断を受けながらも、自転車競技を通じて早期に回復することができました。スポーツがもつ可能性を信じています。

伝えたいこと、そこから

——今後の展望を教えてください。

目標をもって成長を感じたり、誰かに喜んでもらえたり。それは最高に幸せなことだと思います。日本人は「すみません」と言いがちですが、「ありがとう」の連鎖を作っていきたいです。その連鎖が人のモチベーションを上げて、社会を少し明るくする。それを伝えていきたいです。私も諦めずにいられたのは周囲が支えてくれたからです。

現在は、私が主催するインクルーシブなスポーツイベントの準備など、競技の枠を超えた活動にも力を入れています。誰もが楽しめる大会や活動を通じて、スポーツを

より身近なものにしたい。健康であれば、年齢は関係ない。自転車が人生を前向きにするきっかけになれば嬉しいですね。
——本日は貴重なお話、ありがとうございました。

2026年2月21日(土)

「杉浦佳子杯・第1回インクルーシブ

自転車レース成田下総」

開催地：千葉県成田市高岡1435 下総運動公園(フレンドリーパーク) サイクリングコース(1周=1.5km)

年齢、性別、障がい、国籍などに関係なく全ての人に参加できる日本初のインクルーシブ自転車レースで楽しくチャレンジ！
今大会は、東京そしてパリでのパラリンピック自転車ロードレースにおいて金メダルを獲得した杉浦 佳子選手の功績を称え、その活躍を広く知ってもらうため「障がい者」と「健常者」が共に同じ大会で闘い交流を深めるレースを開催します。これにより成長途上にあるキッズやジュニア、また自転車レースにチャレンジを志す初心者にも気軽にレース参加できる企画を実施。

<インクルーシブ自転車レース種目>

- 1.個人タイムトライアル(個人TT)
- 2.個人ロードレース

インクルーシブ自転車レース公式ホームページ

<http://www.jbrain.or.jp/inclusive-bicycle/>

●プロフィール● 杉浦 佳子(すぎうら けいこ)

1970年、静岡県生まれ。薬剤師をしながらロードレースやトライアスロンに親しむ。2016年、45歳の時に自転車の大会で転倒して記憶力などが低下する高次脳機能障害と右半身のまひを負った。医師から回復は難しいと診断されるほどの重傷を負うも懸命なリハビリを重ね、2017年にパラサイクリング選手として奇跡的にレースへ復帰。

その年(タイムトライアル)と翌18年(ロードレース)の世界選手権で優勝。東京2021パラリンピックでは、日本自転車史上初の同一大会2冠と日本最年長での金メダル獲得を達成。さらに2024パリパラリンピック、個人ロードレース(C1-3)でも金メダルを獲得。自らの記録を延ばし続けている。

科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野優れた業績を挙げた人に授与される紫綬褒章を2度受章している。

読者

の広場

授学生便り

◆ 一月遅れの初日の出

大 一

ご支援を頂き、楽しく有意義な大学生活を送らせて頂いています。新しい授業形態に戸惑いながら、友人達と楽しく過ごした月日も早いもので、もうすぐ一年。夏休みから始めたアルバイトにも慣れました。片道二時間以上の通学時間に音楽を聴きながら眺める車窓の景色も、すっかり春から冬へ。宿題のレポートとアルバイトに追われてゆつくり出来なかったお正月休みでしたが、友人と一月遅れで初日の出を拝みに行つて来ました。



保護者便り

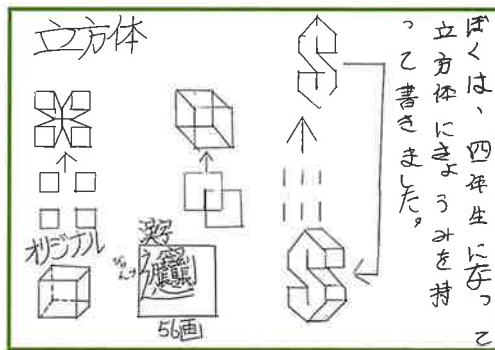
◆ 楽しさ一杯の様子に安堵

月日の経つのは本当に早いもので、高校を卒業してからもう一年が経とうとしています。一学年最後のテストも受け、四月からは二年生進級の予定です。
心配しておりました二時間越えの通学時間、苦手な早起きにも慣れて、新しい友達と一緒に学び、語り合う楽しさ一杯の様子に安堵しております。温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

◆ 孫の成長が楽しみです

お世話になっております。孫も今年五年生になります。色々興味を持つようになり、今は立方体に夢中です。それから一年生後半から

サッカーを始め一日も休む事なく練習に励んでおり、これからの孫の成長が楽しみです。これからもよろしくお願ひ致します。



◆ ますます
淋しくなりました

いつもお世話になってます。ありがとうございます。孫を祖父母で育てていますが、その祖父(主人)が十月に他界してしまい、なかなか書く事が出来ず、申し訳ありません。まだ、なんとなく気持ちが落ち着くことが出来ずにいます。孫もそんな中、大学に行く

◆ 息子と二人で

◆ 頑張ってきました

いつも大変お世話になっております。

今年には息子が、小学校を卒業し、中学校入学という大きな変化の年です。子供より、こちらの方が初めての事はかかりで、ドキドキしています。主人を亡くしてから、二人で頑張ってきました。あどけない子供の表情だった子供も、背も伸びて少年になりました。何だか最近、子供の小さかった頃の写真や動画を観て涙する自分がいます。卒業式なんて、私は大泣きするんだらうなと思っていました。でも、これは一つの区切りにか過ぎず、これからまだまだ私達には色々な事があるんだらうな。そんな時こそ、主人の事を思い出し、あの人が

だつたらどういう風にするかな?どんなアドバイスを息子にかけるだろう?とふと立ち止まろうと思います。今は、毎日寒い日が続き、気分も晴れない日もあります。春には晴ればれとした気持ちで、新しい環境を迎えたいと思います。

◆ 子どもたちの

◆ 笑顔のために

いつもお世話になっております。早いもので事故から一年が経ちました。下の子は、卒園、入学時にバタバタとした影響もあり、学校へ行つて親と離れる、ということにまだ不安を感じているようです。ある日、急に父親が入院し、長期間会えなかった息子(下の子)の気持ちを考えると少し切なくも感じますが、彼に寄り添いながら少しずつ乗り越えていってくれたらいいな、と思っております。

一方で三年となったお姉ちゃん、寂しい気持ちもあるとは思いますが、毎日、学校に習い事に、一生懸命、明るく過ごしています。彼女の明るさや元気な姿が私に安心とチカラをくれてます。ま

まだまだ主人本人もリハビリが続き、事故前の主人に戻ることはありませんが、子どもたちの笑顔のために精一杯頑張りたいと思います。

以前いただきました図書カードは、子どもたちそれぞれに欲しがっていた本を購入するのに使わせていただきました。ありがとうございます。

卒業家庭より

くやしかったであろう妻の為に

スポーツ店を始めてそろそろ軌道に乗りはじめた五日目。留守番をしていた妻が高校生に…。

四十一年前のことです。長男が小学六年、長女が小学四年。それぞれ五十三歳、五十一歳、私も今年八十歳。孫達もそこそこの大人となり、この先どうするか、どう成るか、まだまだ迷っています。しかし、くやしかったであろう妻の為に、これから周りの人に迷惑をかけない様、力いっぱい生きてゆこうと思っています。

今でも犯人が憎い 気持ちでいっぱいです

ご無沙汰しております。皆様お変わりないでしょうか…。

あの日から三十八年が過ぎました。当時五才だった一人娘も四十三才となり三児の母として毎日頑張って生活しております。今だに当時を振り返ると涙が出てきます。今も元気で主人が生きていたら孫の顔を見て喜んでいたと思います。四十三才の若さで突然亡くなってしまった主人ですが、天国から私達を見守ってくれているでしょうか。今でも犯人が憎い気持ちでいっぱいです。犯人が今普通に生活していると悔しさで胸がいっぱいになります。もうこのような事件がない事を祈ります。

私はあの日から自律神経失調症になり、今もまだ通院しております。今は自分を大切にしながら生きて行くしかありません。

テレビでも毎日の様にいろんな事件があり、本当に淋しいです。少しでも世の中が恙無く生活出来る様に願っております。

まだまだ寒い日が続きますが、皆様お身体ご自愛下さい。平凡な、平和な日が続きます様に心から願っております。



おばーちゃん家に
冬休み泊まりに行った時

【近況報告】

長い間孫達のことと温かいお心遣いをいただき、本当にありがとうございます。

「ふれあい」を通じてどれほど励まされ心強く感じてきた事か言葉では言い尽くせません。おかげ様で孫達三人も無事に成長し社会人として日々頑張っております。これも「ふれあい」とみな様の心添えがあつてのことと心より感謝申し上げます。

これまで送り続けてくださった「ふれあい」ですが、ご負担をおかけしているのでは

と案じておりました。この節目を機にひと区切りさせていただければと思っております。これからもお身体を大切に

ふれあいの広場

『令和八年度事業計画・収支予算』等の決定

令和八年度の「事業計画等（案）」、「収支予算書（案）」などを審議する定時理事会が、二月二十六日に開催され、提出した六議案が原案どおり決議されました。

『事業計画』の主な事業概要

★奨学金等給与事業

消費者物価の上昇等を受け、奨学金月額と海外留学生の入学等準備一時金の支給額が、一部改訂されました。金額は次表のとおりです。

また、修学継続支援一時金として、大規模災害又は放火若しくはもらい火による火災により被災し、修学の継続に支障が生じることとなった奨

お過ごし下さい。みな様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。これまで本当にありがとうございました。

★生活指導相談事業
奨学生家庭をはじめ被害者支援関係者との交流等を主な目的に「ふれあい」を年四回発行し、毎回六千部作成・配布します。

奨学金等の額

(単位：円)

	月額	一時金
幼稚園児等	10,000	50,000
小学生	12,000	80,000
中学生	14,000	50,000
高校生	一般	50,000
	授業料等負担が特に重い場合	
大学・大学院生	国・公立	200,000
	私立	
海外留学生	50,000~100,000	500,000



理事会

また、支援関係者間における救援事務の迅速・適正化を図ることを目的に、年二回発行している「事務局ノート」は、二月と六月に各奨学生家庭と都道府県警察本部の被害者支援担当所屬に配布します。

★支援金支給事業
犯罪により死亡又は稼働できないう重篤な被害を受けた犯罪被害者等で、加害者による補償が期待できず、公的救済制度や保険による補填もないなど、現に著しく困窮し、特別の救済の対象とすべき理由があると認められる方に対し、重度障害者等支援金（一時金）を支給します。

また、奨学生であった者が

「ケアリーバー」となった場合、申請に基づき、ケアリーバー支援金（一時金）を支給します。

★広報・啓発活動事業

基金事業の概要や被害者等の声を掲載した小冊子「明日の笑顔のために」と被害者支援を呼びかけるポスターを作成し、全国の警察、地方自治体、教育委員会、被害者支援団体等に配布し、救援事業への理解と犯罪被害者等への支援を広く継続的に訴えています。

また、「全国犯罪被害者支援フォーラム二〇二六」（全国被害者支援ネットワーク等と共催）及び「犯罪被害者週間全国大会二〇二六」（犯罪被害者団体ネットワーク主催の協賛）の二事業について、費用の一部を助成します。

★調査研究助成事業

昨年十月から第二回調査研究助成事業がスタートしました。犯罪被害者等支援対策の向上に寄与する研究成果が期待されます。

『収支予算』の概要

令和八年度の経常収益は、一億三千四百八十二万八千

円、経常費用は、一億三千四百四十三万一千円、経常収支は、三十九万七千円のプラスとなります。

奨学生の採用

令和七年度第二回奨学生選考委員会が、三月二十六日に開催され、新たに奨学生十二名（園児等二名、小学生七名、中学生四名、高校生一名、大学生一名）が採用されました。今回の採用により、三月末現在の奨学生は、二百三十六名（園児等八名、小学生六十七名、中学生五十名、高校生六十名、大学生四十八名、大学院生二名、海外留学生二名）となりました。



奨学生選考委員会

感謝状の贈呈

回胴式遊技機商業協同組合理事長大饗裕記様より多額の寄附をいただきました。この御寄附に感謝申し上げます。理事長感謝状を贈呈いたしました。



左：回胴式遊技機商業協同組合 理事長 大饗裕記様

「愛の募金」へのお礼

■寄附金額

一 二五九万七五一八円

令和七年十二月一日から令和八年二月二十八日までの間に、当基金に次の方々から沢山の寄附金が寄せられました。皆様のご篤志に厚く御礼申し上げます。

○北海道
三上則夫様

知床遊覧船事故

ボランティア捜索隊様

○青森県

工藤誠様 関恵介様

高橋一聖様 森田正司様

○岩手県

近藤淳子様 佐藤俊一様

○福島県

高橋義広様

○東京都

伊東佑一郎様 梅本良恵様

加藤幸裕様 上村創様

埼玉康子様 佐藤真理様

中原紀子様 西川勝美様

野田健様 堀金恵美子様

望月一良様 森永憲治様

明治大学校友会

練馬区地域支部

狩野省市様 三平和男様

宮下隆様 山浦仁様

太田滋徳様

回胴式遊技機商業協同組合

理事長 大饗裕記様

サントリービバレッジ

ソリューション株式会社様

駒沢女子大学

人間総合学群心理学科三年

心理学ゼミC一同様

一般社団法人 全国防犯住宅推進機構

代表理事 中島大作様

マグマックス株式会社様

ケート

母の方がたくさんいらっしやいます。年齢も離れているスなどはありますか？

● 親の死について、子供は、友人に話せることではないと理解し自分の中で苦しむことはたくさんあるようです。目が赤かったり、子供の様子から気付きます。そんな時は静かに同じ空間で時間を掛けて寄り添うだけです。一人じゃないよという安心感を感じてくれたら、また前向きに動いてくれます。私の場合は、子供が元気そうな時に「何でも聞くよ」とその時々々の進度に応じて、一緒に考えました。ただただ親族の安心感が必要です。

● 孫が大学一年になりました。孫の健康そして祖母（七十五才）も健康に留意しなくてはと、思っております。
● 私と同じ経験をされている方が居られるんですね。全く同じ悩みを抱えています。先の事を考えると不安ばかりですので、今、子供にしてあげられる事を精一杯頑張っています。真実を話せる年頃になればその時の子供の状況に応じて、考えようと思いません。毎日、これで良いのか悩むのは私の仕事ととらえています。

● 一度子育てを経験していますから、昔のことを思い出して、「そうそう同じことしたねー」とか「私たちの子供たちより、すごいね」などと話しています。もう一度子育てをやり直している感じで、主人はサイクリング担当、私はお料理など家事を、孫と楽しんでいきます。私たちが楽しめば、孫も楽しめるはず。やるしかないのです、がんばっています。（体力はなくなりましたけれど）

● 我が家も長女が年長さんの時に主人が亡くなってしまい、卒園式や小学校の入学式など、私一人で出席して子供に寂しい思いをさせてしまったと思う時が何回もありましたが、そんな時は何も言わずに長女を抱きしめてたくさん愛情を注いでいました。ハグにはパワーがあります。そんな時はたくさん抱きしめてあげてください。

- 泉南警察署
- 兵庫県警察 警察本部警務課
- 甲子園警察署
- 姫路警察署
- 尼崎東警察署
- 南但馬警察署
- 和歌山県警察
- 和歌山東警察署
- 海南警察署
- 鳥取県警察本部 鳥取警察署
- 岡山県警察 警察本部県民広報課
- 岡山中央警察署
- 備前警察署
- 倉敷警察署
- 笠岡警察署
- 総社警察署
- 新見警察署
- 美咲警察署
- 広島県警察
- 大竹警察署
- 江田島警察署
- 庄原警察署
- 香川県警察本部
- 高松北警察署
- 坂出警察署
- 愛媛県警察 今治警察署
- 高知県警察 高知警察署
- 中村警察署
- 福岡県警察 筑紫野警察署
- 小倉南警察署
- 福岡空港警察署
- 熊本県警察 山鹿警察署
- 小国警察署
- 大分県警察 大分南警察署
- 佐伯警察署



寄附者より

犯罪被害者遺児の教育のために、お役立てください。

A様

犯罪被害者の遺児に支援します。

Y様



ふれあいアン

『親代わりの祖父母』

事件により、突然、孫と生活することになった祖父がゆえに接し方に悩まされています。何かアドバイ

●二才八ヶ月両親が亡くなった現場に孫は丸二日間一人でいました。その後、母方の私達祖父母（六十七才、六十五才）と叔母と生活を共にして満五年経ちました。その間、保育園の園長と先生、市の子供相談の方々に協力して頂き、カウンスリング病院の紹介や各方面からのサポートをして頂き現在に至っています。子供は社会の中で育つので各方面からのサポートが必須ですし、私達にも相談できる環境は心強いので必要です。幼い時に深く傷ついた心のキズは生涯消える事はないでしょうが、人生に向かい合っている強さを最近の言動に感じます。何年一緒にいられるか分かりませんが娘の分までこれからも寄り添っていく覚悟です。祖母

●体力も頭も孫についてやる事が難しいと感じるようになってきています。これから先、どうなるんだろうと不安に思う事も多々あります。孫が成人になるまでは元気で頑張ろうと話していますが、不安ではありません。そんな時、皆さんはどう対処しているんでしょうね。

●祖父母だから、かた親だから、親がいないからは、それは、子供ではなく大人が思っているから、子供もがって思ってませんか。実の親がいてもネグレクトでごはんを食べさせてもらえない、病院も連れて行ってもらえない子供はけっこういます。コミュニケーションで大事ですよ。毎日話しをし、たわいもない話をしてる中で、気持ちって分かると思います。何かあった時はそっとしておくのが良いし、またあたまごなしでなく話す事って大事かと思えます。

●学校行事などは、ひしひしと感じますよね。今は特に両親そろって参加するご家庭も多いですよ。うちも、主人の死の事、聞いてはきませんが、誰かに話せると将来子供も支えになるのかなあと思っています。難しい事ですよ。

●私達祖父母も孫娘が二歳になった時より親代わりをしております。確かに保育園に入る前などは公園にいる他の保育園児を見ると淋しそうなお顔を浮かべたり保育園に入園後も他の園児が親にあまえる事を見ると淋しそうなお顔を浮かべたりしました。その様な時でも孫娘へは普段通りに接してました。ごくごく普通に「ママは死んじゃったからねえ」と「でもジジとババがいるでしょ」と言う感じで特別な接し方はず三歳四歳と過ぎました。又、事件については話し出来る方には、正確に話してました。例えば園長先生や園で出来たお友達のお母さんなどでした。そうして行った中で子供とは不思議な者です。自分なりに理解して行くのです。本当に強いです。令和七年四月で小学校一年生に入学しました。私達祖父母より強いと思います。信じてあげて下さい。大丈夫です。色々なお話しや、「いつも、いっしょだよ」と言ってお下さい。きっとやさしい子に成長してくれると思います。とは言え私達もまだ本当の話は直接話しはしておりません。その時の反応を考えると不安ですが孫娘を信じて又、孫娘が居るから私達も元気で居られると思っています。お互いに頑張りましょう。大丈夫です、子供は強いから…。

●私は、夫を亡くして、祖父が夫のかわりをしてきています。子供はよく祖父に夫の事を聞くので、祖父なりに寄り添って話しています。さみしくないように、お出掛け（祖父と孫）にいたり、楽しく過ごされています。

●今はやってる事などいっぱい話してきますが私にはわからない事ばかりでもいっしょの立場に立っていっしょうけんめい聞いています。六十四才にして少し若がえる様な気がして色々教えてもらっています。朝起きて学校に行く前ぎゅっと抱きしめていって、夜ねる前に又ぎゅっと抱きしめてやっています。少しは孫も安心できるのかなあと思っています。

「大切な命を守る」

全国中学・高校生作文コンクールより

● 国務大臣・国家公安委員会委員長賞 〈高校生の部〉

『事実の裏のかけがえのない真実』

岐阜県立華陽フロンティア高等学校 二年

矢嶋 やじま 由乃 ゆの

私たちは、いつも大切なことを見失ってしまふ。たしかに、その存在を知っているはずなのにいつも目をそらしてしまふ。その大切なものは、いつだってそばにあるのに私たちは忘れてしまふ。そんな大切なことに改めて気付かされたのは、昨年「命の大切さを学ぶ教室」を受講したことがきっかけだった。講師である則竹崇智さんの息子さん敬太君は、当時、流行っていたゲームをしながら運転していたトラックにはねられ亡くなられた。ながら運転の危険、憤り、敬太君への想いが則竹さんの声の温度からひしひしと伝わってきた。

「敬太は何でも一番乗りが好き。天国へも一番乗りしたんだ。」

この言葉は、毎日一緒に登校していた敬太君のお兄さんがつぶやいたそう。事故の日も一緒にいて、目の前で敬太君をはねられてしまったお兄さんの気持ちを想像してたまらない気持ちになった。その言葉をどんな気持ちで、どんな声でどんな表情で言ったのだろうか。

当時、小学二年生だった私は、おぼろげながらもこの事故について覚えていた。しかし、あの時と今の私が抱く感情はまったく違うものだった。あの頃、人が亡くなってしまふことについて無知だった。たった九年。九年し

これからの社会を担う中学・高校生を対象に全国各地で犯罪被害者やその家族・遺族が抱える困難や思いについて理解を深めてもらうため、犯罪被害者等による講演会「命の大切さを学ぶ教室」が開催されています。

これに伴う警察庁主催令和七年度の「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールから優秀作品をご紹介します。

か敬太君は生きられなかったのだ。その事実がどれだけ残酷で悲しいことなのか、今なら痛いほど分かる。私がいつしか敬太君の年齢を越して、これまで私がしてきた体験もうれしかったことも悲しかったことも出会った人も全て、敬太君が生きていたら当たり前にあったはずだ。ルールを守らない、軽はずみな行動一つで彼の「これから」を奪われてしまった。敬太君を想う人たちも一生の傷を負わされた。その事実にとっても胸が痛くなった。

私たちはいつも忘れてしまふ。毎日、目にする亡くなってしまった人の記事や報道には伝えきれない嘆きがあることを。その人にはその人を大切に育てて幸せを共有した家族がいて友人がいて大切な人がいた。恋人がいたかもしれない。伴侶がいて子どもがいたかもしれない。夢や大切な約束があったかもしれない。一つ一つ目にする事実の裏には語りきれないたくさんの人たちの苦しみや悲しみがあつて、これまでの幸せがあつた。そして、当たり前にあると思っていた「これから」があつたのだ。私たちは想像しなければならぬ。人が亡くなるということは、その人の全てをなくしてしまふということ。事実の裏には胸がつぶれそうになるほどの真実があることを、私たちは想像して思いを馳せなければいけないと思う。想像することは怖いことだ。大切な人の明日や未来がなくなってしまうなんて、想像するだけで苦しくなってしまう。でも、自分の大切な人が、大切な人の大切な人が何も失わずにいるためには想像する力と考え続けることが大事だと思う。被害者にも加害者にもならないために私はいつも大切なものを見失わないようにしたい。

もしも！に役立つ！ 防災情報

いつどこで起こるかわからない災害。

いのちを守るために、日頃から災害に備えて準備しておくことが大事です。

警視庁警備部災害対策課X (旧Twitter) に紹介されている防災に役立つ豆知識を紹介いたします。備えあれば憂いなし。とても役に立つ情報ばかりですので、ご自宅で試してみたいかがでしょうか。

非常持ち出し品の準備

新年度が始まり、就職や進学等で通勤・通学方法が変わった人もいるかと思いますが、いざという時の為に、経路上の避難場所や住まいまでの徒歩経路を確認しておくことをお勧めします。また、簡単な資料となりますが、この機会に災害発生時に必要な飲料水や食糧の準備等をお願いします。

★屋内だけでなく、建物や塀等に、ひびや破損がないか確認し、必要があれば補強しておきましょう。

非常持ち出し品の準備

飲料水と食糧は、
最低3日分用意して
おきましょう。

非常持ち出し品は、
両手が自由になる
リュックサック等に
準備しておきましょう。

貴重品は別に保管し、
盗難に注意！いざという時、
家族の誰もが持ち出せる
ようにしておきましょう。

★飲料水や食糧の賞味期限や電池の使用期限等は定期的に確認をしましょう。



いざという時に使えるように

以前、非常用のライトに電池を入れたまま保管していたところ電池が切れていたり、液漏れをして点灯できないことがありました。それ以来、我が家では電池を小さなチャック式ポリ袋に入れてライトと一緒に保管しています。いざという時に使えるよう年に1回程度は点検をしましょう。



電池の使用期限も確認しましょう。



ライトと電池をセットにしておくとも電池を探す手間が省けます。



災害対策課X (旧Twitter) で
様々な防災情報を発信中！
ぜひフォローしてください！

@MPD_bousai



▲災害対策課X
(旧Twitter) はこちら

毎日、目にする新聞の小さな記事、二分弱の朝のニュース。そこには様々な人の人生があることを、すっかり思いを馳せたい。
講演が終わっても頭から離れない映像がある。敬太君が持っていた水筒は、事故の時つぶれてしまったそう。そのつぶれた水筒をお兄さんは両手で何度ももとに戻そうとしたそう。敬太君を想って、いなくなってしまった現

実が信じられなくて。見たことのないつぶれた水筒とお兄さんの姿を何度も想像してしまった。それを語る則竹さんの切なげな声でより苦しくて仕方がなかった。きつと、この日、聞いたことを思ったことを感じた痛みを一生忘れられないだろうと思った。

北から 南から

兵庫 県

春の淡路島の楽しみ方

一般社団法人淡路島観光協会
事務局長 福浦 泰穂



ふれあいの花園菜の花

春の淡路島は、やわらかな陽光と海風に包まれ、島全体がゆつくりと色づき始める季節。冬の名残が消え、山も海も明るさを取り戻す頃、訪れる人の心をそっとほどこいてくれるような穏やかな時間が流れます。
北淡路の高台に広がるあわじ花さじきでは、春になると菜の花やポピーが一面に咲き誇り、丘陵地帯を

そして、春の淡路島でぜひ体験したいのが鳴門海峡のうずしお。春は潮の動きが大きく、年間でも特に迫力あるうずしおが見られる季節。観潮船に乗れば、海面が渦を巻き、白く泡立ちながら吸い込まれていくダイナミックな姿を間近で感じられます。花の柔らかさとは対照的な自然の力強さが、旅にメリハリを与えてくれます。



三熊山 洲本城跡

鮮やかな黄色やオレンジに染め上げます。眼下には青い海が広がり、空と海と花畑が重なる景色は、まさに春の淡路島を象徴する一枚。広い空の下で深呼吸すれば、花の香りと潮風が混ざり合い、心がふつと軽くなるようです。
島の中央、三熊山では、洲本城跡の桜が満開を迎えます。石垣の上に咲く桜は、歴史の静けさと春の華やきが調和し、淡路島ならではの風情を感じさせます。城跡から眺める紀淡海峡の青と桜色の対比は、春の旅に欠かせない景色のひとつです。

花を愛で、歴史に触れ、海の迫力を感じ、旬の味を楽しむ。春の淡路島は、自然と人の営みが調和した穏やかな魅力に満ちています。



新玉ねぎ

春の味覚も淡路島の楽しみみのひとつ。なかでも新玉ねぎは、この季節ならではの代表格。みずみずしく甘い味わいは、サラダでそのまま楽しむのももちろん、丸ごと煮込んだスープや天ぷらにしても素材の良さが際立ちます。島内の食堂やカフェでは、新玉ねぎを使った春限定メニューが登場し、旅の食卓を豊かに彩ります。



淡路島うずしおクルーズ・渦潮と咸臨丸

編集後記

入学、進級、就職などで夢と希望を胸に新生活を迎えられたことと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2月に開催されたミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、選手たちがお互いを尊重し称えあう姿に感動いたしました。選手たちが見せてくれた、競技の結果だけでなく、努力や挑戦を認め合う姿勢をお手本に、小さな喜びをみつけながら自分らしいペースで新生活を歩んでいきましょう。

ふれあい 第174号

令和8年4月15日発行
発行者/公益財団法人 犯罪被害救援基金
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-3-6
平河町共済ビル2.0
電話/03(5226)1020
FAX/03(5226)1023
相談コーナー/03(5226)1021
ホームページ/<https://kyuenkikin.or.jp/>

犯罪にあわれた 被害者の子供たちに愛の手を

「誰でもよかった」などという無差別な犯罪や一方的な思い込みによる凶悪な犯罪の被害に遭われる方が、今でもなくなりません。何の責任も落ち度もないのに、ある日突然、命を奪われた被害者の思いは想像もできません。遺族の嘆きや悲しみ、悔しさは、筆舌に尽くし難いものがあります。

こういった犯罪被害に遭うことを予期することとはできません。いつ、誰が被害に遭うか、誰にも分からないのです。

国による犯罪被害者への給付や地方自治体による支援施策の充実が必要であることはいうまでもありませんが、それだけでなく、多くの国民の方々が、被害者に心を寄せ、一人一人ができる支援をしていくことが求められています。

当財団は、犯罪被害給付制度の開始と時を同じくして発足した日本で最初の犯罪被害者支援民間団体として、犯罪被害遺児への奨学金支給事業を中心とした支援に当たってまいりました。これまでに、二二五七人の奨学生に約三〇億七五二二万円を支給し、被害遺児が学業を全うするための一助となってきました。そのすべては、国民の皆様からのご寄附とその運用益によるものです。

きわめて厳しい経済情勢の中ではありますが、今後とも適切な額の奨学金を支給するためには、多くの皆様からのご寄附を得ることがますます重要となっております。引き続き、広く国民の皆様の温かいご理解とご寄附を心よりお願い申し上げます。

寄附金応募の方法

▶金融機関へ振り込んでいただく場合

銀行名：ゆうちょ銀行

□座番号：00120-4-37666

他の銀行から振り込まれる場合

〇一九（ゼロイチキョウ）店

当座0037666

□座名義：公益財団法人 犯罪被害救援基金

*ゆうちょ銀行から振り込んでいただく場合、ご連絡いただきましたら振込手数料のご負担をいただかない専用の振込用紙を郵送いたします。

現金で振り込む場合には、硬貨の枚数により別途加算料金がかかる場合があります。詳しくは、ゆうちょ銀行にお問い合わせください。

▶郵便にてご寄附いただく場合

直接当基金へ郵送ください。

寄附金は確定申告をしていただきますと、税制上の優遇措置を受けることができます。

▶「ふれあいの箱」にご寄附いただく場合

各警察施設等の窓口においてある「ふれあいの箱」（募金箱）をお願いします。

ふれあいの箱



いちりんしゃ
一輪車
も!



たから
宝くじ
ドリーム
ジャンボ
絵本も!



宝くじは、
みんなの暮らしに
役立っています。

パブリック
アート
も!



ピクニック
テーブル
も!



たから
宝くじ
桜も!



フラワー
プランター
も!



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う
社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>

